



にんしんSOSかごしま



ninshin-sos-kagoshima Vo.1 2021.12

私たちが相談員です

今年2月、思いがけない妊娠の相談窓口“にんしんSOSかごしま”を立ち上げました。

誰にも相談できずひとりで悩んだ末の“赤ちゃんの0歳0日死亡”が、虐待死の報告の中で一番多いのが現状です。「赤ちゃんの命を守りたい」「女性を犯罪者にしたくない」そんな思いで始めました。

相談員は、県内の助産師5人が務めています。また、プロジェクトメンバーには、大学教授、社会福祉士、養護教諭、ジャーナリストらも参加しています。

“にんしんSOSかごしま”は、一目で見つけてもらえるように検索しやすいネーミングにしました。ホームページも漢字にはルビを振るなど、分かりやすくする工夫をしています。

今年は県や市町村、医療機関、大学・専門学校・高校などに、チラシやカードを配布したほか、ラジオを通して周知に取り組んでいます。LINEやインスタグラムなどSNSでの発信もしています。

にんしんの「こまった」に寄り添い
人をつなぎ、関係をつむぐ



電話での相談

050-3183-8807

受付時間：月・水 15:00~19:00
土 13:00~20:00



HPIはこちら

メールでのご相談

24時間対応、24時間以内に返信
メールフォームはHPより

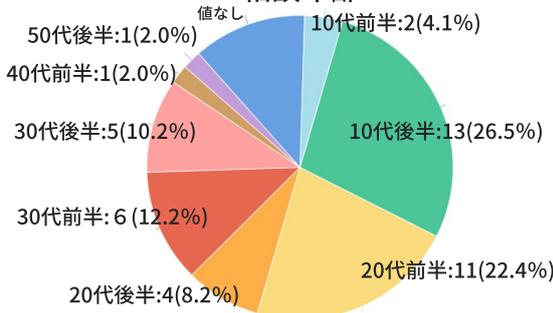
相談実績

2021年2月～9月末までの相談は49件でした。男女比は、女性85%男性15%で、男性からの相談も多いことがわかりました。年齢別では20代が一番多く、10代、30代とどの年代からも相談がありました。相談事例では相談員との相談で終了するケースが多いものの、行政に繋いだ例などもあります。経済的な相談、パートナーとの関係性など複雑な事例も多く、どうにも支援策が見つからないこともあり、私たち相談員も現実社会との狭間で葛藤しています。

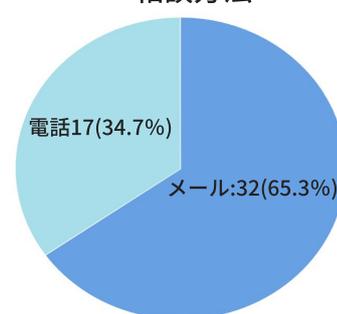
相談内容(背景・複数選択あり)

妊娠しているかどうか	18
経済的困窮	10
その他	8
中絶できる医療機関について	7
未婚	4
中絶費用について	3
子育てをすることへの不安	2
緊急避妊について	2
特別養子縁組・里親制度について	2
性暴力(性暴力)・性風俗の妊娠	2
夫・彼氏の反対	2
妊婦健診・出産費用について	1
出産する医療機関情報	1
不倫関係・夫以外の子の妊娠	1
中絶への不安	1
若年妊娠	1

相談年齢



相談方法



対応

傾聴・助言(受診のすすめ、健康相談等)	22
情報提供と連携 他機関を本人に紹介	5
その他の情報提供	4
情報提供と連携 他機関へ連絡し連携	3
制度・法律等の情報提供	1

研修会のお知らせ

予期しない妊娠への相談対応研修 (パート1:基礎編)

～現場で役立つ知識を学ぶ～

妊娠したけどお金がない・住むところがない・妊娠・出産・子育てに関する知識がない
予期しない妊娠について相談を行った方と信頼関係を築き、寄り添った相談対応を行うことが必要です。
今回の研修会では、妊産婦支援に携わる方が現場での対応で役立つ知識を学んでいただきたいと考えています。

～基礎編～

【日時】2022年1月28日(金)
10:00～17:00 受付9:30～

【場所】鹿児島大学医学部 鶴陵会館 ホール
【対象】保健師・助産師・看護師・医師・養護教諭・福祉関係者
等の専門職*学生・一般の方は対象外です。

【受講者】100名程度
【参加費】3000円*テキスト代1000円含む
～スケジュール～

「妊娠 SOS 相談が求められる背景と現状」
～子育て世代包括支援センターの展開をふまえて～
専任講師:佐藤拓代((公社)母子保健推進会議会長、医師)
「予期しない妊娠をした女性への質の高い相談対応」
専任講師:松岡典子(MC特)・センターみっくみえ代表、助産師
12:45-13:45 ランチタイム
「予期しない妊娠をした女性の背景とその支援」
専任講師:赤尾さく美((一社)ベア7n-7 理事、助産師)
「地域の社会資源・母子生活支援施設の役割と可能性」
講師:巻木邦洋((社福)千草会 千草寮 少年指導員)
「育てられない女性と子どもの福祉」～特別養子縁組～
専任講師:赤尾さく美(全妊ネット理事、(一社)ベア7n-7 理事、助産師)
*アドバンス助産師は確認テストあり



*遅刻・早退は原則禁止とさせていただきます。*研修終了後に受講証をお渡しいたします。
*会場にて飲食不可:食堂をご利用ください。食堂では注文可。持ち込み可。
*本研修はアドバンス助産師「ウイメンズヘルスケア:WHC」更新申請のWHC研修(予期せず妊娠をした女性の支援:6時間)と認められます。

にんしんSOS
かごしま



主催:にんしんSOSかごしま 共催:(一社)全国妊娠SOSネットワーク
助成:(公財)日本財団
後援:鹿児島県助産師会・日本助産実践能力推進協議会(日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会・全国助産師教育協議会・日本助産評価機構)・母子保健推進会議



重要なのは話を聞き、悩みに寄り添うこと

「予期しない妊娠への相談対応研修」

思いがけない妊娠の背景には、貧困問題や家庭内不和など
根深い問題を抱えた人も少なくありません。妊娠相談には、
医療面での知識に加え、社会制度などを活用した支援につなぐ
知識も必要です。

苦しんでいる女性たちに寄り添う支援方法を、一緒に学びませんか？

とき : 2022年1月28日(金) 10:00～17:00

ところ : 鹿児島大学・鶴陵会館ホール

(鹿児島市 桜ヶ丘キャンパス)

対象 : 思いがけない妊娠の支援に関わる専門職

受講料 : 3,000円(テキスト代1,000円含む)

申し込み : 専用フォームに入力



※複雑な背景を抱える人を支えるためには、支援する私たちも
横のつながりを作って、顔の見える連携を大切にしたいと考え
ます。

コロナ禍での孤立が問題となる今だからこそ、対面の研修会
を企画しました。感染対策をしながら行いますので、多くの
支援者の皆さまのご参加をお待ちしております。

※基礎編を受講された方は、アドバンス編が受講できます。
詳しくはSNSなどをご覧ください。

知っておきたい性の知識

緊急避妊薬って知っていますか？

相談事例では「避妊に失敗した」という声も寄せられます。その場合、
緊急避妊薬(アフターピル)の情報提供も行います。避妊しないで性交したり
コンドームが破れてしまった時など、避妊に失敗した場合に行う避妊法です。

気になる性交後72時間以内に服用することで、妊娠を抑止できる効果が
期待できる薬です。ただし効果は8割程度と言われ、通常行う避妊法としては
不向きです。普段の避妊法には、他のより効果の高い方法を選びましょう。

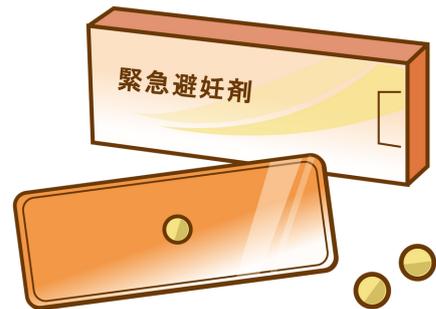
費用は医療機関によって異なりますが、健康保険は適用されませんので
1~2万円ほどかかります。

処方できる医療機関を探すには、厚生労働省のホームページにリストが掲載
されていて「厚生労働省/緊急避妊薬」で検索できます。ただ、医療機関が
遠かったり、休日で受診できず困る場合もあるでしょう。今、日本でも薬局で
処方箋がなくとも買えるようにする動きが出ています。オンライン診療で即日
に郵送してもらえる医療機関もあるようです。

問題は、未成年は利用できないこと！

緊急避妊薬は、先進国に限らず世界90カ国で、処方箋なしに薬局などで買う
ことができます。価格も5千円未満のところが多く、若者には無料という国も
あります。

日本では1年間に、思いがけない妊娠61万件、人工中絶16万件、産んだ
その日に死なせてしまった赤ちゃん22人。本当に心が痛いですね。私たちは
リプロダクティブヘルス・ライツが守られ、日本も、もっと女性たちに優しい
国になってほしいと願っています。



にんしんSOSかごしま
公共掲示板にチラシ
掲示しています

この事業は日本財団の助成金を受けて活動しています

Supported by THE NIPPON FOUNDATION